



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月30日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 長島 雅  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部総括 (氏名) 石井 隆 TEL 047 (774) 8748  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,105	△2.3	210	—	185	—	129	—
29年3月期第3四半期	8,293	0.6	13	—	15	—	△6	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 255百万円 (306.0%) 29年3月期第3四半期 62百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	7.38	—
29年3月期第3四半期	△0.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,564	3,823	40.0
29年3月期	8,293	3,620	43.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,823百万円 29年3月期 3,620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	1.5	163	—	167	—	99	—	5.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	18,392,000株	29年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	885,925株	29年3月期	885,314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	17,506,213株	29年3月期3Q	17,507,906株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く環境は、O157やノロウイルスなどの影響を受け、食の安全に対する課題が一層浮き彫りになりました。

また、食生活に関しては、こだわり志向と節約志向の二極化が鮮明になり、販売チャネルも購入者の食生活パターンに合わせ、スーパーマーケットだけではなくインターネット通販・駅ナカ・道の駅・百貨店による購入と多様化してまいりました。

このような変化の中、当社は今まで築き上げてきた「無添加調理」をさらに生かすため、付加価値の低い商品を終売にし、「地域と旬」をテーマに付加価値の高い商品の販売を強化してまいりました。

正月料理においては、栗きんとんは弘前市、笠間市、成田市、小布施町、山口市、京丹波町等の栗を収穫し、自社で皮剥き・加工した商品に絞り、低価格商品は終売にしました。また、重詰予約おせちについても、不採算商品をカットし、付加価値の高い商品に絞り、素材の風味を生かすため一つ一つ丁寧な生産をいたしました。

食肉加工品においては低価格のプライベートブランド商品は若干落ち込んだものの、ナショナルブランドのミートボールは「無添加調理」をベースに店別、世帯別にメニュー提案と品揃え提案を行ったことで新規の顧客の増加と既存客の利用頻度が増加しました。

生産部門では販売不振の商品を終売にし、一つ一つの工程を分析してロス等を見直し、小ロット生産に切り替えることで製品ロスと歩留りを改善し、時間管理を徹底することにより付加価値生産性の改善を行ってきました。

このような活動を行った結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は81億5百万円（前年同期比1億87百万円減）となりましたが、製造コストの削減等により、営業利益は2億10百万円（前年同期比1億97百万円増）となりました。また、経常利益は1億85百万円（前年同期比1億70百万円増）となり、これに特別損失及び法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億29百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

製品別チャネル別業績の概況は、次のとおりであります。

(単位：千円)

製品別売上高	前第3四半期連結累計期間 (28.4.1～28.12.31)		当第3四半期連結累計期間 (29.4.1～29.12.31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	6,291,430	75.9	6,425,973	79.3	134,542	102.1
炊き込みご飯の素・まぜご飯の素	248,728	3.0	120,787	1.5	△127,940	48.6
惣菜(サラダ・煮物他)	318,921	3.9	329,077	4.1	10,156	103.2
非常食	181,470	2.2	97,752	1.2	△83,718	53.9
配慮食(アレルギー・減塩)	43,732	0.5	36,387	0.4	△7,345	83.2
地域商品	2,478	0.0	54,867	0.7	52,388	—
正月料理	1,122,008	13.5	950,798	11.7	△171,209	84.7
その他	84,256	1.0	90,106	1.1	5,849	106.9
合計	8,293,027	100.0	8,105,750	100.0	△187,276	97.7

(単位：千円)

(チャネル別内訳)	前第3四半期連結累計期間 (28.4.1～28.12.31)		当第3四半期連結累計期間 (29.4.1～29.12.31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
スーパーマーケット・百貨店他		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	5,969,806	87.3	6,098,292	89.8	128,486	102.2
炊き込みご飯の素・まぜご飯の素	213,408	3.1	98,916	1.5	△114,492	46.4
惣菜(サラダ・煮物他)	137,832	2.0	125,625	1.8	△12,207	91.1
非常食	17,276	0.3	18,186	0.3	909	105.3
配慮食(アレルギー・減塩)	22,479	0.3	20,164	0.3	△2,315	89.7
地域商品	2,478	0.0	53,567	0.8	51,088	—
正月料理	399,271	5.9	295,805	4.3	△103,465	74.1
その他	72,784	1.1	81,581	1.2	8,796	112.1
合計	6,835,338	100.0	6,792,138	100.0	△43,199	99.4

（単位：千円）

宅配・生協・官公庁他	前第3四半期連結累計期間 (28.4.1～28.12.31)		当第3四半期連結累計期間 (29.4.1～29.12.31)		比較増減	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	趨勢比 %
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	321,624	22.1	327,680	24.9	6,056	101.9
炊き込みご飯の素・まぜご飯の素	35,319	2.4	21,871	1.7	△13,448	61.9
惣菜(サラダ・煮物他)	181,088	12.4	203,452	15.5	22,363	112.3
非常食	164,194	11.3	79,565	6.1	△84,628	48.5
配慮食(アレルギー・減塩)	21,253	1.4	16,223	1.2	△5,029	76.3
地域商品	—	—	1,300	0.1	1,300	—
正月料理	722,736	49.6	654,993	49.9	△67,743	90.6
その他	11,472	0.8	8,525	0.6	△2,946	74.3
合計	1,457,688	100.0	1,313,612	100.0	△144,076	90.1

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は95億64百万円（前連結会計年度末比12億70百万円増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加2億39百万円、売掛金の増加10億92百万円、有形固定資産の減少1億30百万円、投資その他の資産の増加1億9百万円であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は57億40百万円（前連結会計年度末比10億67百万円増）となりました。主な要因は、買掛金の増加6億22百万円、未払費用の増加3億77百万円、その他固定負債の増加62百万円であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は38億23百万円（前連結会計年度末比2億3百万円増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1億29百万円、配当金の支払52百万円、その他有価証券評価差額金の増加75百万円、退職給付に係る調整額の変動に伴う増加51百万円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は33億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億39百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は3億53百万円（前年同期は1億79百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の計上、売上債権の増加、仕入債務の増加、未払費用の増加であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は49百万円（前年同期は9億30百万円の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は64百万円（前年同期は4億32百万円の増加）となりました。主な要因は、配当金の支払額であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,093,251	3,332,681
売掛金	1,208,993	2,301,971
商品及び製品	95,143	61,041
仕掛品	6,518	4,672
原材料及び貯蔵品	167,428	169,498
その他	40,868	44,500
貸倒引当金	△1,287	△2,423
流動資産合計	4,610,916	5,911,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,340,970	1,268,638
機械装置及び運搬具（純額）	736,133	652,102
工具、器具及び備品（純額）	43,551	35,853
土地	906,296	906,296
リース資産（純額）	61,556	95,537
有形固定資産合計	3,088,508	2,958,428
無形固定資産	44,501	34,642
投資その他の資産		
投資その他の資産	598,474	708,368
貸倒引当金	△48,916	△48,916
投資その他の資産合計	549,557	659,451
固定資産合計	3,682,568	3,652,523
資産合計	8,293,485	9,564,464
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	285,459	907,909
短期借入金	1,080,000	1,080,000
1年内返済予定の長期借入金	250,000	250,000
未払費用	519,367	896,413
未払法人税等	44,520	49,507
賞与引当金	75,674	63,338
その他	132,752	163,541
流動負債合計	2,387,774	3,410,710
固定負債		
社債	1,300,000	1,300,000
退職給付に係る負債	735,754	717,880
資産除去債務	23,106	23,123
長期末払金	139,894	139,894
その他	86,477	149,256
固定負債合計	2,285,232	2,330,155
負債合計	4,673,007	5,740,865

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,352,108	2,428,767
自己株式	△175,422	△175,547
株主資本合計	3,769,086	3,845,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,091	148,192
退職給付に係る調整累計額	△221,699	△170,214
その他の包括利益累計額合計	△148,608	△22,022
純資産合計	3,620,478	3,823,599
負債純資産合計	8,293,485	9,564,464

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,293,027	8,105,750
売上原価	5,350,531	5,067,238
売上総利益	2,942,495	3,038,512
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	479,904	452,969
退職給付費用	54,905	51,921
賞与引当金繰入額	30,864	33,226
支払手数料	182,673	174,368
運搬費	855,306	857,259
販売促進費	363,019	362,692
その他	962,659	895,871
販売費及び一般管理費合計	2,929,333	2,828,308
営業利益	13,162	210,204
営業外収益		
受取利息	652	68
受取配当金	4,189	4,496
廃油売却益	14,539	11,398
受取保険金	13,521	—
その他	11,154	9,252
営業外収益合計	44,056	25,216
営業外費用		
支払利息	13,123	12,923
たな卸資産廃棄損	18,229	35,849
社債発行費	9,259	—
その他	998	774
営業外費用合計	41,611	49,546
経常利益	15,608	185,874
特別損失		
固定資産処分損	1,802	1,696
特別損失合計	1,802	1,696
税金等調整前四半期純利益	13,805	184,178
法人税等	19,944	54,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,138	129,179
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,138	129,179



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,138	129,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,088	75,100
退職給付に係る調整額	31,041	51,485
その他の包括利益合計	69,129	126,586
四半期包括利益	62,991	255,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,991	255,765
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,805	184,178
減価償却費	291,506	255,158
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,775	△12,336
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	53,330	33,611
受取利息及び受取配当金	△4,841	△4,565
支払利息	13,123	12,923
社債発行費	9,259	—
固定資産処分損益(△は益)	1,802	1,696
売上債権の増減額(△は増加)	△1,311,381	△1,092,977
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,156	33,878
仕入債務の増減額(△は減少)	730,953	622,450
未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少)	3,693	△8,715
未払消費税等の増減額(△は減少)	48,444	△11,672
その他	382,931	385,622
小計	191,695	399,251
利息及び配当金の受取額	10,789	10,063
利息の支払額	△12,689	△13,088
法人税等の還付額	1,966	37
法人税等の支払額	△12,724	△42,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,036	353,357
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,030,000	—
投資有価証券の取得による支出	△2,120	△2,197
有形固定資産の取得による支出	△97,006	△47,600
無形固定資産の取得による支出	△915	—
その他	370	624
投資活動によるキャッシュ・フロー	930,326	△49,172
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	560,000	580,000
短期借入金の返済による支出	△360,000	△580,000
社債の発行による収入	290,740	—
リース債務の返済による支出	△5,105	△12,111
自己株式の取得による支出	△186	△124
配当金の支払額	△52,524	△52,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	432,924	△64,756
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,542,287	239,429
現金及び現金同等物の期首残高	1,403,284	3,093,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,945,571	3,332,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。